

平成30年度 自己評価結果公表シート

下関短期大学付属第二幼稚園

1、目指す子ども像

- ・ 明るく元気な子ども
- ・ すすんで何でもしようとする子ども
- ・ ねばり強くがんばる子ども
- ・ 素直で思いやりのある子ども

2、教育目標

- ・ 目指す子ども像を念頭におき、一人ひとりの子どもの可能性を十分伸ばしていく

3、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・ 評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善・施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

4、評価項目の達成及び取り組み状況

評 価 項 目	取 組 み 状 況
①指導計画の作成と評価（週案・日案） ・ 子どもの実態を十分把握し、発達状況を考慮して案を立てているか	・ 昨年度の指導計画を参考にしながら、子ども一人ひとりの発達状況を考えて計画を立てている。
②指導計画の作成と評価（行事） ・ それぞれの行事について、子どもの発達を考えながら実施し、子どもの実態やねらいなどについて職員間で話し合い、見直しをおこなっているか	・ 行事の内容については、園長に相談したり職員間で話し合ったりしながら、子どもの発達状況を考え無理のないよう実施している。 ・ 職員会議や行事後の反省会時に見直しを行っている。

評価項目	取り組み状況
<p>③食育の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の菜園を利用し、各年齢に合った栽培や収穫活動に取り組んでいるか ・給食を利用して食事の楽しさを知らせたり、各年齢に合った食事のマナーの指導をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児が中心となって野菜の栽培に取り組んでいる。 ・栽培や収穫を経験させることで、苦手な野菜を口にする子が増えている。 ・食育ボードを利用し食育を進めている。 ・各年齢に合った基本的な食事のマナー（箸の持ち方や食事の姿勢）を指導している。 ・未満児は一人ひとりの発達状況に合わせ、皿の変更や箸への移行をすすめている。
<p>④教育環境の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを温かく受け入れるような環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味が持てるような玩具の用意や職員の笑顔や声掛けにより、楽しい雰囲気作りに努めている。 ・職員が仲立ちをしながら、人とかかわる楽しさを感じることができるよう努めている。
<p>⑤幼児の観察と理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の話を聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるよう努めているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や態度を見守りながら、思いを受け止めるよう努めている。 ・登園を不安がる子には、側に寄り添い安心できる環境作りを心がけている。 ・チック症状を発見した際は、保護者と連携をとりながらチックの原因を探り、症状の改善に努めている。
<p>⑥教職員同士の協力・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を利用し、全職員で共通理解をすべき項目について積極的に伝えることができているか ・子どものことについて常に教職員間で話し合い、クラスをこえて情報を共有しているか ・職員同士が相談しやすい環境を作り、常に協力体制のもと園務遂行ができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを利用して全職員に子どもの情報を伝えるようにしている。 ・月1回職員会議を設け話し合いを行い、共通理解ができるよう進めているが、未満児クラスと以上児クラスでは生活の流れが違うため、話し合いの時間を度々設けることが難しく、急な変更事など伝わらないことがある。 ・職員同士は相談しやすい環境である。
<p>⑦研修・研究への意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の教育および保育については自己課題を持って計画・実践・反省を行い、そこで得た悩みや学びを他の教師と話し合うことができているか ・各年齢の発達状況を理解し、指導法や教材の研究をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会で学んだことを日々の保育に活かせるよう、他の職員と話し合い保育に取り入れている。 ・発達状況を考慮し教材研究をするよう努力しているが、シフト勤務のため教材研究の時間が取れないことがある。

評 価 項 目	取 り 組 み 状 況
<p>⑧安全への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故には気を付け、年齢に応じた適切な環境構成やことばかけを行っているか ・ホワイトボードを利用し、ヒヤリハットを他の職員に知らせているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に約束事などをし、危険回避に努めている。 ・危険を感じた際はホワイトボードを利用して、他の職員にも知らせるようにしている。 ・未満児においては、ケガには十分気をつけているが、成長とともに行動範囲が広がり対応が追い付かないこともあった。
<p>⑨安全管理体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策・危機管理マニュアルを理解しているか ・緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるよう取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策・危機管理マニュアルに目を通し理解するよう努めている。 ・緊急時の対応について、職員室に掲示しておきいつでも確認できるようにしてある。 ・感染症の流行時には、職員間で対処法を話し合ったり、対応手順をプリントにして配布することで共通理解をするようにしている。
<p>⑩情報の発信と受信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだよりによって日々の保育の様子を知らせるとともに、個々の子どもの様子は保護者に直接話をしたり、連絡帳を使って伝え合っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・以上児クラスは毎週クラスだよりを配布し、クラスの様子を知らせるようにしている。 ・未満児クラスは毎日連絡帳にその日の様子を知らせている。 ・子どもの気になる様子について、直接保護者と話をすることで、早く解決するよう努めている。
<p>⑪事故やけが等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育中のけがや病気については、速やかに保護者へ連絡を入れ、状況や原因を説明の上、病院へ搬送するなどの対処をしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長に症状を知らせ対応を判断し、必要に応じて病院へ搬送をする。 ・小さなケガや体調の変化については、必ず保護者へ知らせている。 ・降園時の視診を毎日行い、体調の変化を見逃さないよう心掛けている。
<p>⑫教材や備品の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材や備品の準備・管理および整理整頓について、担当者だけに任せることなく協力することができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・残量が少なくなった際には、必ず担当に知らせるようにしている。 ・全職員が気持ちよく使用できるように整理整頓を心掛けている。
<p>⑬PTA活動の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAの活動の負担軽減のために職員間で話し合い、行事内容の見直しを行っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事前に検討しPTA役員の負担軽減につながるよう努めている。 ・来年度のPTA活動（バザー）に向けてアンケートを取り、検討の予定である。
<p>⑭地域への開放と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園が持つ専門的な技術や情報、環境・設備等を地域に開放・提供し、子育て支援に取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくランドを実施し、子育て支援に努めている。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
<ul style="list-style-type: none">・ 職員間の協力・連携について ・ 教材や備品の管理について ・ 担当職務の徹底について	<ul style="list-style-type: none">・ 以上児クラスと未満児クラスのパイプ役を決め、連携がスムーズにとれるようにする。・ 話し合いの場に参加できなかった職員への伝達は、担当を決め決定事項が伝わるようにする。 ・ 教材や備品が切れていることがないよう、担当が定期的に在庫の確認をするよう心掛ける。 ・ 職員間で共通理解をすべき事柄は、伝達方法を工夫し関係職員に伝えるようにする。